

SHISEIKAN!

志あるところ道あり



+ α 実現に向けての行動!

2

卒業にあたって

3年生担任 清田 一弘

2月7日、3年生の皆さんは卒業式を迎えます。

私は志成館に赴任して7年。志成館では3回目の3年生担任でしたが、過去2回は前担任を引き継いだ3年次だけの担任。1年次から3年間持ち上がりだったのは、今回が初めてです。

志成館に赴任する前の約20年間は、全日制の高校(計3校)に務めていました。その間、3年間の持ち上がりはわずか1回でした。彼らは現在、30代半ばです。今のクラスは、私にとって人生で2回目の持ち上がりクラスです。したがって、思春期の大切な時期に3年間も私の影響(?)を受け続けた人はこの世の中に80名くらいしかいないと言う、たいへん貴重な方々です(^_^) 良かったのか、悪かったのか・・・??

私は3年間、クラスのコミュニケーションを大切にしてきました。そして、あらゆる機会を通して、人前で自分の考えを表現するプレゼンテーション能力を高める指導をしてきました。卒業後に進学する生徒には、AO入試の合格者が多数います。面接やプレゼンテーション試験を利用できるほど成長したからです。座学の学問は、その気になればいくらでもできます。しかし、人とのコミュニケーション力は性格や個性にも因るとは思いますが、一朝一夕に

は伸ばすことはできません。この力は、進学先でも社会に出てからも、生きていく上でも大きな武器になると思います。

残念ながら、卒業後の進路がまだ決まっていない生徒もいます。今、アルバイトをしている人。しばらくその仕事を続けてみたらどうでしょうか? その中から自分が本当にやりたい事が見えてきたら、その時に次のステップに入ってみたらどうでしょうか? まだ、どうしようか迷っている人。社会には、若者サポートステーション(サボステ)のような支援機関がたくさんあります。志成館は「NPO 法人 くまもと共育会」と連携していますので、そんな機関とつながることができます。気軽に相談に来てください。もっと勉強して大学進学を目指したい人は、志成館【大学受験科】がありますので、もう1年、志成館でがんばるというのも選択肢の一つですよ。

これから生きていく上で、様々な困難が予想されます。卒業生の皆さんが、いろんな個性を受け入れて、人と人をつないでくれる優しい大人の方と出会い、将来は皆さん自身がそんな大人になってくれることを切に願っています。

卒業、おめでとう
ございます!!



橋本先生のコミックセラピー

農園療法や音楽療法など様々な活動から癒しの効果が認められるようになりましたが、実はマンガでも証明されるようになって来ました。そんなマンガによる癒しを「コミックセラピー」と言います。

誰かに苦しめられて、つい「死」を
考えてしまいそうな人にオススメのマンガ



死役所

バンチ・コミックス 2巻まで発売中[新潮社]

作：あずみきし

健康でいこうコラム 中熊和典

免疫力を上げる。

今年はインフルエンザがかなり流行しています。風邪やインフルエンザの予防に、免疫力を上げることがよく言われます。では、免疫力とはカラダのどこにあるのでしょうか？

サントリーの健康情報レポートによると、約6割の免疫細胞が腸にあります。風邪を引いておなかが痛くなるのも、病原菌を体内から排出しようとする働きです。

腸では水分や栄養分を吸収します。カラダの約6割が水分でできていますから、自分のカラダの約6割は腸のフィルターを通した水分から出来上がっていることになります。腸の働きがよくなることで、水分の吸収率が上がっ

志成館の生徒の中にはなかなかのマンガ通がいる。多くのマンガの中から「これだ！」と言える作品を見つけ出し、的確なコメントで作品の魅力を語ることができるのはやはり一種の才能だろう。今回紹介するマンガは、そんな生徒の一人から教えてもらったものだ。

人は死んだらどうなるか、誰でも一度は考えることだが、このマンガではこの世とあの世の間に役所があり、そこでは天国、地獄、あるいはどちらにも行けず永遠にさまよい続ける冥界のどこに行くかが決められる。その役所こそが「シ役所」であり、そこで勤めている職員の「シ村」が主人公という何ともユニークな設定だ。

死者は死んだときのままの姿で役所に現れる。自殺や事故で子供が死んだときの姿は、画像にあるように確かに衝撃的だが、不思議と陰惨な感じはしない。それは、子供たちがもうすでに死んでいるからでそれ以上の苦しみからは解放されているからだろう。

多くの子供たちを殺しながら一向に悪びれる様子も無い人間、自分が快樂におぼれるあまりに幼い子供を凍死させてしまった母親、執拗なイジメで同級生を自殺に追いやった男の子。そんな人間の末路は哀れだ。結局は地獄にいか、冥土への道をさまようか。刑務所に入るしかしかない。つまり、自分がやったことは結局全部自分にはねかえってくるという、まさに「自業自得」だということをこのマンガは伝えようとしている。

同時にこの作品は、今誰かに苦しめられていて死ぬほど辛いと思っている人へのメッセージでもある。もし、苦しみのあまりに自殺したとしたらどうなるか、そこには「シ役所」があり、死因によって担当課が振り分けられ、役所の条例によってきわめて事務的にその後のことがテキパキと処理されていく。それだけのことだ。結局死後の世界もこの世と大して変わらない。

だとしたら…もうちょっとこの世で何とか生き抜いてみようよ、苦しめたやつには必ず報いが来るのだから安心していいよ、というセリフが聞こえてきそう。

このマンガを読み、とりついていて死神を追い払ってもう一度生きなおしてみよう。

たり、血液の流れが良くなったりします。そうすると“病原菌を排出するカラダ”や、“みずみずしい肌”になります。

しかし、あまり油ものを多く摂りすぎたりすると、腸の中に油膜が張って水分の吸収をしづらくなります。他にも、睡眠不足などで腸を休めないままだと、腸の働きは悪くなり、古い水ばかりが循環するカラダになるわけです。

自分のカラダの中を綺麗な水が流れることを意識しながら、食べ物や飲み物を選択してみてください。これにより、キレイな肌で病気にもなりにくいカラダになることができるのではないかと思います。

日	曜	
1	日	
2	月	
3	火	
4	水	
5	木	
6	金	【高校】卒業式の予行練習 【高3】食事会
7	土	【高校】卒業式
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	(建国記念の日)
12	木	【高校】センター早期対策模試
13	金	【高校】センター早期対策模試
14	土	
15	日	
16	月	【高2】基礎力講座 [~3月27日(金)]
17	火	
18	水	
19	木	
20	金	
21	土	教育講演会“子どもの本音、親の本音”
22	日	
23	月	
24	火	
25	水	
26	木	
27	金	
28	土	



高等学院

■6日(金) 卒業式予行、(3年生)食事会

熊本校の多目的ホールを使って、卒業式の予行練習を行います。また、3年生は練習の後に熊本校近くの『儼郷』[れいきょう]にて食事会を行います。

■7日(土) 卒業式

くまもと県民交流館「パレア」の10階パレアホールにて、午前10時より卒業式を举行します。

■12日(木)・13日(金) センター早期対策模試

平成28年度 大学入試センター試験の受験を考えている生徒を対象に、実際の試験時間に合わせてマーク方式の模試を行います。

■16日(月) [~3月27日(金)] 基礎力講座

平成27年度から高等学院の新3年生になる生徒のうち、大学受験科の授業の受講を希望する生徒を対象とした、準備講座を実施します。

各科目の実施要領などは、後日改めてプリントを送付いたします。

大学受験科

■今後に関して・・・

みなさん、大学入試センター試験は本当にお疲れさまでした。両日とも寒かったですね！

センター試験後、自己採点会・出願校決定のための二者面談等を経る中で、数字といった動かせぬ形となった結果と向き合いつつ、様々な思いをお持ちになったのだと思います。しかし、まだ終わったわけではありませんよね。国公立2次試験、私立一般入試に向けて、現在までの過程を大切に、敢闘されることを心から願っています。

また、受験した大学の結果については、その可否に関わりなく、必ずお知らせさせていただきますよう、お願いいたします。

高認受験科

「高認第Ⅱ期」がスタートしました。試験は8月、高認試験合格後のことも視野に入れ、十分な対策をする時間が残されています。

焦らず、一步一步着実に、前に進んでいきましょう。

■写真でふりかえる 平成27年1月のできごと■

●年末年始 冬期講習／^{しめなわ}注連縄



年末年始、大学受験科の「冬期講習」を1週間ずつ行いました。大学入試センター試験や大学入試に向けて、各生徒が受験に必要な科目の授業を実施しました。

また、熊本校の入口には年末から年始まで注連縄を飾り、年神様(新年の神様)をお迎えしました。



1月9日(金) 始業式／書き初め大会

熊本校・八代校で始業式を行い、続けて書き初め大会を行いました。職員も生徒に交じって筆を走らせました。

平成27年の意気込み、自分の好きなもの、などなど。生徒のみんなは“字を書くこと”を楽しんでいました。



新春書き初め大会



1月20日(火) 地域行事“鏡開き”



熊本校に隣接する地域の集会所にて、地域行事の鏡開きが行われました。高等学院1・2年生の生徒が地域の方々と一緒にぜんざいを食べました。

1月28日(水) 第7回「整体講座」



昨年に引き続き、高等学院「体育」の時間に菊陽町『緑の杜整体院』のリンパケアインストラクター／整体師の下田高裕先生をお招きしました。

今回のテーマは「今の自分のカラダを知ろう!」です。簡単なテストで現在の自分のカラダの様子を知り、“グーパー・マジック”などでケアの方法などを学びました。



<高等学院3年生の様子>

2月7日(土)の卒業式が近くなり、3年生の生徒からは「卒業したくない…」「卒業の実感が湧かない…」なんて声をよく聞くようになりました。また、卒業文集の原稿を校内で書く様子も見受けられ、志成館に来てからの時間を振り返る人、書く内容に困る人、生徒どうしや先生と話す人…などの光景もあります。

授業の中で人生ゲームをしたり、授業以外の時間にトランプやカラオケをしたり、残りの志成館生活を各々のペースで過ごしています。



先生たちのつぶやき

1・2年生の皆さんへ。3年生を卒業させるにあたり感じたことを述べます。必ず学年ごとに、レポート・テストを終了させてください。学年をまたいで残ったレポート・テストに苦しむ3年生の姿をたくさん見てきました。「毎日、少しずつ…」

これがむずかしいのですよね(— —)!!」(清田)



何かものを探すことが多いです。何がどこにあるのか、大体あの辺りにあるだろうなと思いつつも、その場所を何回も探していたりします。当然、時間がかかってしまいます。そのため、今はなるべく物を減らすことに取り組んでいます。物を減らせば収納する物の数も、スペースも減らすことができ、記憶して管理しなければならないもの自体も減らすことが出来ます。

得意なことではないのですが、いらないものはどんどん手放して、シンプルに暮らせるようになりたいと思います。(中熊)



自分の心の窓が、ほかの人たちにむけてどれくらい開かれているか、そんな心理学的な実験を公開授業でやってみました。「ジョハリの窓」という実験ですが、今の子どもたちはなかなか心の窓が開きません。もっと人とコミュニケーションを広げて思いっきり窓を開いてみてください。あまり我慢せずにつらい時はほかの人に話してみましょ。外からの風がスーッと入ってきて意外に心地いいものですよ。(橋本)



年明けそうそうインフルエンザにかかり、39℃の発熱。始業式に出席できず、他の人より遅いスタートとなりました。という訳で当たり前のことですが、まずは人に迷惑をかけないように体調管理に気を付けながら、皆さんと一緒に頑張りたいと思います。

昨年からインフルエンザが大流行です。皆さんも手洗い、うがいは勿論のこと、食事や睡眠にも気を付けて下さいね。(金丸)

2月に入り、ゆっくりと春に向かっていく感じがしています。これから暖かくなり、考えていたこと、興味のあることなどを思い切ってやってみるには、良い時期かと思います。

まずは、動いてみませんか。

さて、2月7日には高等学院「卒業式」が行われますが、今、大流行中のインフルエンザ等には充分注意して、「卒業式」には卒業生46名全員と、在校生の元気な姿が見たいものです。(高橋)



1月末をもって、志成館を辞することになりました。志成館に勤めさせていただいたのは2回目なのですが、今回はあまりにも短く、残念でなりません。

このたび私が関わらせていただいたのは実に少数の方々でしかありませんでしたが、やはり若い皆さん方は本当に素晴らしかったです。ご自分の人生を、立派に建て上げていかれることを祈念しております。(濱津)



初日の出を見るために、元日に大分県の別府湾に行きました。お正月の話をするには時期外れではありますが、1月号の原稿締め切り後の出来事なもので(〇^;「平成27年が良い年になりますように」と祈願しました。

●全国の鉄道路線では、大晦日から元日未明にかけて初詣に行く乗客のために臨時列車が運転されます。熊本電鉄でも初詣列車が運行され、藤崎宮への多くの参拝客を乗せる様子がニュースで放送されていました。元日は1年の中で唯一、夜行列車以外の旅客列車も24時間運転を行うため、鉄道旅行好きにとってはとても興味深い日です。

●今回は大晦日のうちに福岡市へ移動し、元日・午前1時19分発の列車で北九州市へ、それから大分市へ南下している間に、別府湾から昇る日の出を列車内から眺められました。

今年の元日は午前1時から午後11時まで列車に乗っていましたが、鉄道の乗務員さんや駅員さん、立寄ったコンビニや温浴施設の方々など、道中では元日に働くたくさんの方々のお世話になりました。普段生活している間には、例えば家族や友達など身近な人だけではなく、名前も知らないような方々にもたくさんお世話になっているなど、お正月から感じました。

これから進学・就職・進級するにあたり、また多くの方のお世話になると思います。周りの人への感謝の気持ち、いつも忘れずに。(山口)

★ 進学合格速報 ★

平成26年度の大学受験科の生徒、および高等学院3年生の中には、既に進学・就職先が決定した生徒も多数います。

既に決まった生徒の進学先の一部をご紹介します。



＜四年制大学＞（順不同）

- 東京工芸大学 芸術学部 ゲーム学科
- 東海大学 経営学部 観光ビジネス学科
- 東海大学 文学部 アメリカ文文学科
- ルーテル学院大学 総合人間学部 人間福祉心理学科
- 熊本学園大学 商学部 商学科
- 崇城大学 生命学部 応用微生物工学科
- 崇城大学 生命学部 応用生命科学科（※『ミライク50』合格）

※崇城大学の特待生制度『ミライク50』とは？

一般公募制推薦入試の4学部すべての受験者の中から成績上位20名に対し、「4年間の授業料が1年あたり50万円」の特典が与えられます。この50万円とは、国内のほとんどの国立大学の授業料よりさらに低い金額です。

＜短期大学・短期大学部＞

- 尚網大学 短期大学部 総合生活学科

＜専門学校＞（順不同）

- 九州工科自動車専門学校（3名合格、うち1名はB特待）
- 崇城大学専門学校（2名合格、うち1名はD特待）
- 福岡ECO動物海洋専門学校
- 西鉄国際ビジネスカレッジ専門学校 鉄道科
- ヒロデザイン専門学校
- モア・ヘアメイクカレッジ
- 日本航空専門学校
- 八代実業専門学校
- 熊本駅前看護リハビリテーション学院 看護学科
- 東京HAL CG学科



■教育講演会を開催します■

子どもの本音、親の本音

～志成館で行われているスクールカウンセリングについて～

講師：加藤 理人 氏

志成館高等学院スクールカウンセラー
臨床パストラル心理士

場所：志成館熊本本校6階（多目的ホール）

日時：平成27年2月21日（土）14：00～16：00

費用：学校等教育関係者、中学生・高校生ご本人、保護者、その他関心のある方ならどなたでも

費用：無料

主催：志成館高等学院

共催：NPO法人 日本教育相談研究所くまもと共育会T.T

参加お申込み・お問い合わせ：

教育講演会事務局 TEL 0120-08-3730

思春期の子どもと向き合うおとなたちの会

『ひなたぼっこの会』

平成27年3月例会のお知らせ

思春期の子どもさんの不登校・非行・子育てなどをひとりで悩んでおられる方、私たちと一緒に語りませんか？

日時：平成27年3月7日（土）

14：00～16：30

場所：八代教育会館 1階（志成館八代校）

〒866-0852 八代市大手町1丁目59-2

参加費：一般の方は200円、会員の方は無料。

主催・お問い合わせ：

NPO法人 日本教育相談研究所

『くまもと共育会T.T』『ひなたぼっこの会』事務局

TEL 096-366-1080（平日9～18時）

★例会は、奇数月 第1土曜日の14：00から、八代教育会館（志成館八代校）で行っています。

※『SHISEIKAN!』通信の挿絵は、『イラストわんぱぐ』(<http://www.wanpug.com/>)のフリー素材を使用しています。



日本航空高校【熊本キャンパス】

志成館高等学院

志成館【高認受験科】

志成館【大学受験科】



日々のブログ（随時更新中）、テレビCM、

毎月発行『SHISEIKAN!』通信、

情報いっぱいのホームページは・・・

志成館

検索